



平成 29 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 アサヒグループホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小路 明善  
(コード番号 2502 東証第 1 部)  
問合せ先 広報部門ゼネラルマネジャー 中原 康博  
(TEL. 03-5608-5126)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 29 年 12 月期 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日) の通期連結業績予想 (IFRS) につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成 29 年 12 月期の通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上収益	事業利益 (※)	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,820,000	165,000	146,000	144,400	96,000	209 円 55 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	2,030,000	188,000	167,300	163,500	110,000	240 円 11 銭
増 減 額 (B-A)	210,000	23,000	21,300	19,100	14,000	
増 減 率 (%)	11.5	13.9	14.6	13.2	14.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	1,706,901	148,486	136,889	150,068	89,221	194 円 75 銭

※事業利益：売上収益から売上原価及び販売費・一般管理費を控除した恒常的な事業業績を測る利益

### 2. 修正の理由

当期の通期連結業績は、国内の飲料、食品事業における増収に加え、国際事業において本年第 2 四半期から損益を連結した中東欧ビール事業の業績が 9 か月分上乗せとなり、売上収益が当初計画を大きく上回る見通しとなりました。また、各事業の増収効果に加えて、製造原価の低減や固定費全般の効率化などにより、事業利益、営業利益などの各利益についても当初計画を大きく上回る見通しとなりました。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上